

戦略的経営と協働で創造する 魅力あふれるまち

この分野の主な課題

主要施策 40 効率的かつ効果的な行政経営の推進

- まちの将来像の実現のために施策を立案し、推進する必要があります。また、各施策と組織・予算を連動させることで、行政効率の向上と行財政改革を一層推進する必要があります。
- 市民生活や行政経営に有効な広域連携について、調査・研究を進める必要があります。

主要施策 41 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

- 公共交通の利用者の増加やまちの拠点の活性化のために、バスターミナルへの乗り入れ路線の増便を進めていく必要があります。また、広域交通と連携した地域公共交通ネットワークの形成や地域の実情に応じた移動手段の導入による公共交通空白地の解消に取り組む必要があります。

主要施策 42 ICTの利活用による市民サービスの安定化と利便性の向上

- デジタル・ガバメント実行計画に基づき、基幹システムの標準準拠システムへの移行に取り組む必要があります。また、行政手続のオンライン化やRPA、AI-OCRの利用促進、セキュリティ対策の徹底も重点的に推進する必要があります。

主要施策 43 人材育成と職場環境の整備

- 職員のエンゲージメントを高め、職員一人ひとりが熱意とチャレンジ精神をもって主体的に働く職場づくりや業務の効率化と職員の意識改革によって、時間外勤務の抑制や有給休暇の取得推進など、安心して働き続けられる職場環境の整備を一層推進する必要があります。

主要施策 44 シティプロモーションの推進

- ふるさと加東への愛着や誇りを醸成し、定住意欲の向上を図るとともに、市外に向けて本市の強みを発信していくことが重要です。また、土地利用の現状、社会情勢や意識の変化、地方移住の傾向を的確に捉えた、定住・移住をさらに促進するための取組が必要です。

主要施策 45 にぎわいと活力があふれるまちづくり

- まちの活力の維持・向上を目指し、引き続き、人材の発掘や交流・にぎわいの創出に取り組む必要があります。また、まちの拠点の形成や産業団地用地の創出を図ることが重要です。

主要施策 46 デジタルの力を活用したまちづくりの推進

- さまざまな地域課題の解決やまちの魅力向上の取組を一層推進するため、最先端のデジタル技術を積極的にまちづくりに活用していく必要があります。また、デジタル技術を活用できる人づくりも重要となります。

主要施策 47 広報・広聴活動の充実

- 時代に則した適切な手段による情報発信に取り組み、市民の市政への理解と参画を促進することが重要です。また、市民や地域などからの相談状況を踏まえ、今後の広聴のあり方を検討していく必要があります。



施策 1 戦略的行政経営の創造

主要施策 40

効率的かつ効果的な行政経営の推進

／ 将来あるべき姿 ／

行財政改革の推進や根拠に基づく事業の立案、広域連携の推進により、効率的かつ効果的な行政サービスを提供し、まちの住みよさが向上しています。

協働の取組

市の取組

① 総合計画に基づいたまちづくり

市政出前講座などによる市政に関する積極的な情報発信により、市民や地域、事業者などとまちづくりの方向性を共有し、総合計画に基づく協働のまちづくりを推進します。また、効率的かつ効果的な行政サービスの提供に向け、事業の選択と集中や行政手続の簡略化などを進めるとともに、所属を越えて事業提案ができる環境づくりに取り組みます。

② E B P M の推進

施策の有効性を高めるため、合理的根拠に基づいた事業の立案を推進します。そのため、職員の E B P M に関する意識・知識の向上や統計データを利用しやすい環境整備に取り組むとともに、E B P M を実践する職員のネットワークを構築します。

③ 広域連携の推進

地域の活性化と市民生活の利便性のさらなる向上に向け、近隣市町との連携による行政事務や市民サービスの提供について協議を進めます。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民や地域、事業者などは、まちづくりの方向性を理解し、互いに連携・協力します。
- 市民や事業者は、各種統計調査に協力します。
- 市民は、広域化による行政サービス提供のメリットを理解し、広域連携の推進に協力します。

まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 全主要施策の目標値達成割合 後期基本計画のすべての指標のうち、目標値を達成した指標の割合	—	47.9%	80.0%
② E B P M の実践による事業実施数(累計) E B P M を実践し、事業を実施した数	—	—	10 件
③ 広域連携事業実施数(累計) 広域連携による事業実施数	3 件	7 件	12 件



施策1 戦略的行政経営の創造

主要施策 41

持続可能な
地域公共交通ネットワークの形成

\ 将来あるべき姿 /

くらしを支え、交流を促進し、地域とともに守り育てる持続可能な地域公共交通ネットワークが形成されています。

協働の取組

市の取組

①地域公共交通ネットワークの形成〔総合戦略〕

広域幹線を担う路線バスの各路線の維持・充実に向けて、運行ルートや運行ダイヤの見直しを交通事業者と協議し、市内外への移動手段の確保に取り組みます。また、既存の地域公共交通の拡充や地域の実情に応じた新たな地域公共交通の導入により、市内移動の充実を図り、これらの地域支線と広域幹線を接続させることで地域公共交通ネットワークを形成します。

②地域公共交通の利便性の向上〔総合戦略〕

鉄道や高速バスによる広域へのアクセス性の向上や、バスターミナルにおける交通結節点機能の強化を図り、利便性の向上やまちの活性化につなげます。また、鉄道駅やバス停の待合環境の整備、駐車場や駐輪場の確保など、地域公共交通の利用環境の向上に取り組みます。

③地域公共交通の利用促進〔総合戦略〕

地域、交通事業者、企業などと連携したバスや電車の乗車体験や、地域公共交通に関する講座などによるモビリティマネジメントの実施など、地域公共交通の利用促進に向けた取組を実施します。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民は、地域公共交通への理解を深め、積極的に利用します。
- 地域は、地域公共交通への理解を深め、公共交通事業の取組に参画します。
- 交通事業者は、地域公共交通の持続的な運営と安全で安心な地域公共交通サービスの提供を行うとともに、サービスの向上に努めます。また、市や企業・団体と連携を強化し、モビリティマネジメントに積極的に取り組みます。

まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 地域公共交通の人口カバー率 総人口に対する地域公共交通サービス圏域内の人口割合	—	60.9%	80.0%
② 交通手段の確保に対する市民の満足度 市民アンケートにおいて、交通手段の状況を満足と感じる市民の割合	39.1% (H29)	43.5% (R4)	53.0%
③ 公共交通機関を利用する市民の割合 市民アンケートにおいて、公共交通機関をできるだけ利用しよう意識している市民の割合	21.8% (H29)	25.5% (R4)	27.5%



施策 1 戦略的行政経営の創造

主要施策 42

ICTの利活用による
市民サービスの安定化と利便性の向上

\ 将来あるべき姿 /

行政サービスのデジタル化やオンライン化により、行政事務が効率化するとともに、市民の利便性が向上しています。

協働の取組

市の取組

①行政サービスのオンライン化

市民などの利便性向上を目的として、マイナンバーカードを活用した各種行政手続のオンライン化やワンストップサービス申請の実装を進めます。

②行政事務のデジタル化

行政事務の効率化を目的として、RPA、AI-OCRなどのICTを積極的に活用して業務プロセスを改善するとともに、基幹システムの標準準拠システムへの移行やガバメントクラウドでのシステムなどの共同利用に取り組みます。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、ICTに関する知識やスキルを保有し、新たな価値を提供できる人材の確保・育成にも取り組みます。加えて、技術革新に対応した情報セキュリティ対策を講じます。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民などは、オンライン申請などを活用します。
- 事業者は、システムの安定稼働に協力します。

まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 行政手続のオンライン申請件数 オンラインで行政手続の申請があった件数	7 件	119 件	1,500 件
② システム(ツール)導入による事務作業の削減時間数 システム(ツール)導入による事務作業の削減時間数	—	4.5 時間	2,500 時間



施策1 戦略的行政経営の創造

主要施策43

人材育成と職場環境の整備

\ 将来あるべき姿 /

「加東市を自らがよくする」という熱い想いをを持った職員によって、活力あるまちづくりが進み、市民サービスの質や市民満足度が向上しています。

協働の取組

市の取組

①職員の人材育成

複線型人事制度の導入やジョブローテーションの見直しなど、人事制度改革への取組を推進し、職員の職務に対する意欲ややりがいを向上させ、組織を活性化します。また、職員の自学を支援するための体系的・計画的な研修制度を確立するとともに、職員の主体的な自己開発・自己研鑽を促進します。

②働きやすい職場づくり

市民サービスの質の向上のため、業務の省力化・生産性の向上に取り組めます。また、仕事と生活の調和がとれ、職員がいきいきと働くことができるよう、多様で柔軟な働き方が可能な職場環境づくりに取り組めます。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民は、職員の資質向上などについて、意見を述べます。
- 事業者は、職員研修に協力し、民間のノウハウなどを講義します。

まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① エンゲージメントスコア 職場への愛着や業務への情熱度合	—	47.1 (R4)	61.0
② 市の職員の対応に対する市民の満足度 市民アンケートにおいて、市職員の対応を満足と感じる市民の割合	78.6% (H29)	81.6% (R4)	90.0%

施策2 まちの活力の創造

主要施策 44 シティプロモーションの推進

＼ 将来あるべき姿 /

若い世代を中心に多くの人々から「選ばれるまち」になっています。

協働の取組

市の取組

① ふるさと加東への愛着・誇りの醸成〔総合戦略〕

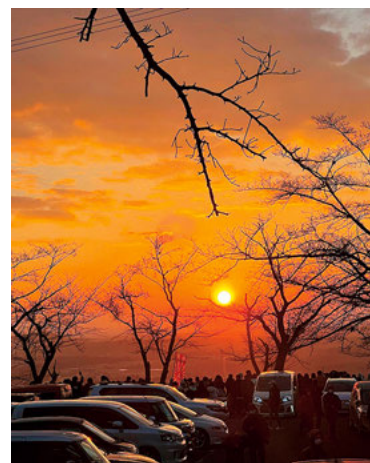
市民の定住意欲を高めるため、CATVや広報かとう、SNSなどにより、まちの魅力を発信し、郷土の素晴らしさの再認識・発見を促します。また、その魅力をより広く浸透させるため、市民の自主的なプロモーションを促進し、ふるさと加東への愛着や誇りを醸成します。

② 市の認知度の向上〔総合戦略〕

市への興味・関心を高め、人の流れをさらに促進していくため、ブランドイメージを明確にするとともに、マスメディアやふるさと納税、関東加東応援団との連携などを通じて、市の魅力を、民間事業者や団体などと連携・協力しながら、市外へ効果的に発信し、市の認知度の向上を図ります。あわせて、定住・移住希望者の受入環境の充実に取り組みます。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民や地域、事業者（関東加東応援団を含む。）などは、市の魅力を認識し、発信します。
- 地域は、定住・移住者の受入環境を整えます。
- 事業者は、定住・移住希望者からの相談対応に協力します。



まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 定住意欲度 市民アンケートにおいて、住み続けたいと思う18～49歳の市民の割合	74.2% (H29)	74.7% (R4)	78.0%
② 社会増減数(累計) 転入・転出者数の状況	—	223人 (H29～R3)	278人



施策2 まちの活力の創造

主要施策45

にぎわいと活力があふれるまちづくり

\ 将来あるべき姿 /

まちの拠点の形成や産業団地用地の創出に向けた取組が進み、にぎわいと活力があふれるまちになっています。

協働の取組

市の取組

① まちの拠点づくりの推進〔総合戦略〕

交流やにぎわいを創出するとともに、生活利便性の向上を図るため、まちの拠点施設を核として、民間活力の活用による周辺地域の基盤（環境）整備や、まちの拠点づくりコンソーシアムを中心とした、地域で活躍する事業者や団体などとの連携による事業展開を進めるなど、ハード・ソフトの両面から多様な主体との協働によるまちの拠点づくりを推進します。

② 産業団地用地の創出〔総合戦略〕

企業立地の促進や雇用の創出を図るとともに、地域農業を維持するため、関係機関との協議・調整や民間事業者との連携・協力により、産業団地用地の創出に取り組みます。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民や地域、事業者などは、まちの拠点（地域）づくりに積極的に参画します。また、まちの拠点の形成及び産業団地用地の創出について理解するとともに、用地確保など事業の推進に協力します。
- 事業者は、市民や地域のニーズを理解し、まちの拠点づくりに関する基盤（環境）整備に協力するとともに、その特性に応じた開発を行います。



まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 市街地の活性化に対する満足度 市民アンケートにおいて、市街地の活性化を満足と感じる市民の割合	—	61.7% (R4)	67.0%
② 産業団地整備計画の作成 産業団地用地創出のための整備計画(直営又は官民連携)の作成状況	—	—	有



施策 2 まちの活力の創造

主要施策 46 デジタルの力を活用したまちづくりの推進

＼ 将来あるべき姿 /

まちづくりのさまざまな分野においてデジタル技術を積極的に取り入れることで、生活利便性やまちの魅力が向上しています。

協働の取組

市の取組

① 住みやすく、魅力ある地域づくりのためのデジタル技術の活用〔総合戦略〕

市内事業者などのスマート農業、スマート教育などのDXの推進に向けた支援、テレワークやワーケーションに適した環境の整備などに取り組みます。また、デジタル技術の導入を通じた利用しやすい公共交通環境の充実や地域コミュニティの維持、ICTの活用に不安がある方への支援などを推進します。

② DX推進のための基盤整備〔総合戦略〕

最先端の技術をまちづくりのさまざまな分野で活用することができる人材の確保・育成を進めるとともに、だれもが利用できる通信インフラの整備、まちづくりに活用できるオープンデータの整備などに取り組みます。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民は、最先端の技術について積極的に学ぶとともに、その知識や活用方策について共有します。
- 地域は、地域課題の解決に向け、デジタル技術を活用します。
- 事業者は、職場環境の改善や新たなビジネスの創出に向け、デジタル技術を積極的に取り入れるとともに、地域や行政との協働でより住みよいまちの実現に寄与します。

まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 情報通信環境に対する満足度			
② 市民アンケートにおいて、まちのDXに関する環境整備に対して満足と感じる市民の割合	—	—	82.0%

※参考 「ICTの利活用による市民サービスの利便性の向上」に対する満足度：79.5%（令和2年度市民アンケート）

施策3 広報・広聴の推進

主要施策47 広報・広聴活動の充実

\ 将来あるべき姿 /

多様な媒体による市民への広報・広聴を通じて行政と市民相互の情報共有を図ることで、市民の行政への理解・関心が深まり、積極的な市政への参画が進んでいます。

協働の取組

市の取組

① 情報提供の充実〔総合戦略〕

広報かとうや市ホームページ、CATV、SNSなど、世代に応じた媒体を活用し、記事に対する市民の声や反応を積極的に拾い上げ、情報発信に反映します。また、地域や各種団体の活動情報を積極的に取り入れることで、多くの市民が関わる情報発信に取り組めます。

② 市民ニーズの市政への反映

市長への手紙やパブリックコメントなどの広聴により、市民ニーズを的確に把握するとともに、市政への反映に努めます。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民は、市ホームページ、SNSといったデジタル情報を閲覧し、また、CATVの自主放送番組を視聴するとともに、積極的に市の魅力を発信します。
- 市民や事業者などは、行政からの情報発信におけるペーパーレス化、デジタル発信に理解を示します。また、積極的に市に意見を提出します。



まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 広報かとうに対する意見の提出件数 広報かとうに対する意見・要望の提出状況	—	—	36 件
① 市民に開かれたまちづくりの推進に関する取組に ② 対する満足度 市民アンケートにおいて、広報・広聴などの取組を満足と感じる市民の割合	78.1%	81.2% (R4)	85.0%

